

令和5年3月8日

報道関係者 各位

香川県農業協同組合

高松市中央卸売市場で「いちご」をトップセールス 県産いちごの出荷期間後半に向け、市場関係者にPR

香川県では、いちご品種の「さぬきひめ」、「女峰」などが栽培されています。生産者は、302人、栽培面積は54.7㌖、出荷量は2217.5ト（JA香川県令和4年産計画）です。出荷期間は、11月から翌年6月で、主な出荷先は京阪神や県内市場となっています。

栽培品種の中でも取扱量の多い香川県オリジナル品種の「さぬきひめ」は、果実が大きくまるまるとした形で上品な味わいが楽しめます。また、栽培では、香川県独自の高設養液栽培システム「らくちん栽培」が県下に普及し、衛生的で、いちごに日光が均一的に当たるため、色、大きさ、形の良い高質ないちごが生産されています。

今回の香川県野菜花き生産者研究会いちご部会のトップセールスは、出荷最盛期と出荷期間後半の開始にあわせ、販売数量、単価の維持拡大を目的にいちご部会の部会長、副部会長らが市場関係者にPRします。

ぜひ、取材をお願いいたします。

1. トップセールスについて

日 時 令和5年3月11日（土）
県産いちごのトップセールス 午前6時40分～7時00分

場 所 高松市中央卸売市場 青果棟内 高松青果株式会社 果実売場
所在地：高松市瀬戸内町40-12

PR品種 「さぬきひめ」「女峰」

挨拶 香川県野菜花き生産者研究会 いちご部会長 河野 英樹 様
いちご部会副部会長 久保 俊輔 様
JA香川県 常務理事（営農担当） 陶山 幸弘 様
高松青果㈱ 代表取締役社長 齊藤 良紀 様



2. 県産いちごの作柄について

本年産のいちごは花芽分化期（8月、9月）が高温のため、花芽分化が例年に比べやや遅れ気味となった。10月下旬から出荷が開始となったが12月の寒波、燃油の高騰の影響も大きく年内の出荷最盛期も例年に比べ7日～10日程度遅れたなかでの推移となった。12月後半から1月末にかけてようやく出荷量も増加傾向となったが、2月に入ると寒波、曇天続きによる日照不足の影響もあり若干端境となり数量は減少したが、3月以降は天候の回復とともに出荷量も回復し引き続き安定的な出荷が見込まれる。

【本件に関するお問い合わせ先】

JA香川県 販売戦略課 高松営業所 担当：山本 電話：087-812-5530